



## PDA 即興型英語ディベート キーノートディベート（第15回）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2023年6月25日（日）13:00-14:30

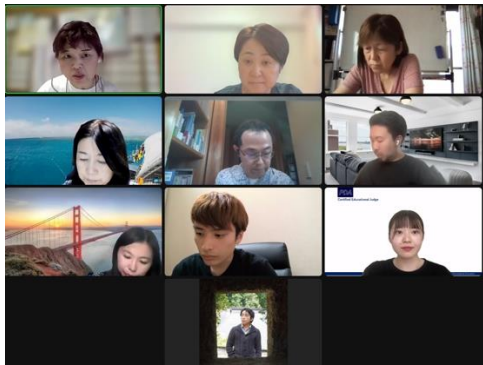
会場：オンライン（Zoom）

参加者：8名（ディベーター7名、ジャッジ1名）

### ディベートの様子

ディベートの前に自己紹介を行い、ディベートの目標や意気込みについて述べました。そしてディベートの開始です。“The Board of Education should disclose the names of teachers who administered corporal punishment.”（教育委員会は、体罰を行った教員の氏名を公開すべきである。）でした。肯定側は、体罰による生徒の苦しみや、氏名の公表が教員の意識の変化に必要なだと主張し、否定側は、教員にとって負担が大きい、体罰の問題解決にとって逆効果であると主張しました。

ディベートが終わり、ジャッジのコメントを待つ間、「体罰」の定義について議論するなど、トピックへの理解を深める時間となりました。



ディベートの様子



ディベート後のエアークラップ

キーノートスピーチでは、東京大学法学政治学研究科の平田彩子准教授にご登壇いただきました。法社会学がご専門で、今回の論題について、関連する条例とその実態をご紹介いただきながらご説明いただきました。

KEYNOTE DEBATE

キーノートディベート 参加者  
皆でディベートして、キーノートで理解を深めよう！

Keynote Speaker  
平田 彩子氏  
東京大学法学政治学研究科 准教授

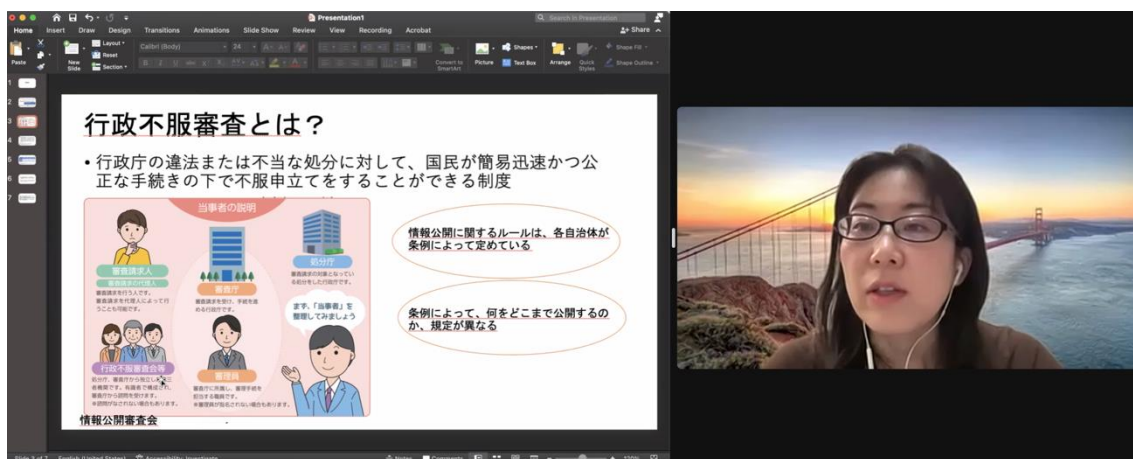
Moderator  
中川 智皓氏  
PDA 代表理事

開催日: 2023/6/25 / 日 13:00-14:30  
URL: <https://pdpda.org/keynote-debate/15hd210625/>  
オンライン: <https://www.zoom.us/j/9299794949>

主催: 一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

キーノートスピーカー紹介

質疑応答では、実態の地域差についてや、論題に関連した質問をする手があがりました。今回の論題では「教員」について議論しましたが、体罰をする教員は、自身が体罰をするときに行政が氏名を公表することを懸念するのか、全く気にしないのであれば氏名を公表したとしても体罰の抑止にはならないのではないかという点についてさらに詳細をご説明いただきました。この観点は、前回の第14回キーノートディベートの「少年犯罪を抑止するために刑罰を重くするべきである。」という論題でも浮上し、異なる分野の最先端の研究がリンクする場面もありました。



キーノートレクチャーの様子

### 参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・勉強になりました。3分のタイムマネジメント、やはり何度やっても上手く行かず勉強になります。
- ・行政不服審査について・・・ちょっと難しいテーマでした。ディベートは足りないことが多かったので、次に向けて勉強しようと思いました。
- ・経験のある先生方のディベートをジャッジするのはなかなか難しかったです。また、少し自分の経験不足でうまくいかないところもあったので次に活かしていきたいです。また、論題に関して平田先生のレクチャーでさらに掘り下げて考えることができました。